

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	ダイワ英国高配当株ファンド	追加型投信/海外/株式
	ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	追加型投信/国内/債券
信託期間	約5年間(2014年5月30日~2019年5月17日)	
運用方針	ダイワ英国高配当株ファンド	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
	ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ダイワ英国高配当株ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド(資産成長クラス)」(以下「ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド(資産成長クラス)」といいます。)の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	イ. ダイワ・マネー・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券 ロ. わが国の公社債
運用方法	ダイワ英国高配当株ファンド	①主として、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド(資産成長クラス)の受益証券を通じて、相対的に配当利回りの高い英国の株式等(不動産投資信託証券を含みます。)へ投資し、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド(資産成長クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド(資産成長クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド(資産成長クラス)では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	①マザーファンドの受益証券およびわが国の公社債を中心に投資することにより、安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位(A-2格相当)以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマmercial・ペーパーに投資することを基本とします。
組入制限	ダイワ英国高配当株ファンド	投資信託証券への投資割合には、制限を設けてません。
	ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	・マザーファンド組入上限比率は無制限 ・株式組入上限比率は純資産総額の30%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者から資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ダイワ英国高配当株ファンド ダイワ英国高配当株ファンド・ マネー・ポートフォリオ

## 運用報告書(全体版) 第5期 (決算日 2016年11月17日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ英国高配当株ファンド」および「ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5651>  
<5652>

★ダイワ英国高配当株ファンド

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI英国指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
1期末(2014年11月17日)	円 10,306	円 200	% 5.1	10,557	% 5.6	% 0.0	% 94.0	百万円 2,582
2期末(2015年5月18日)	11,122	400	11.8	11,552	9.4	0.0	98.8	2,089
3期末(2015年11月17日)	10,352	140	△ 5.7	10,293	△10.9	0.0	98.5	1,842
4期末(2016年5月17日)	8,418	0	△18.7	8,819	△14.3	0.0	98.2	1,117
5期末(2016年11月17日)	7,815	110	△ 5.9	8,489	△ 3.7	0.0	99.3	672

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI英国指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI英国指数(配当込み、英ポンドベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI英国指数(配当込み、英ポンドベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

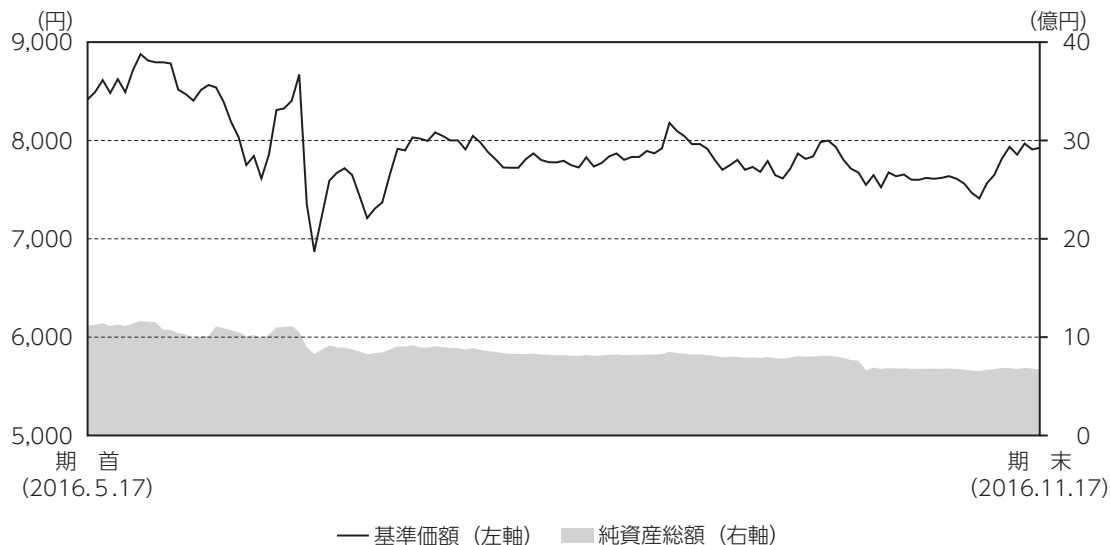
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

## ■基準価額・騰落率

期首：8,418円

期末：7,815円 (分配金110円)

騰落率：△5.9% (分配金込み)

## ■基準価額の主な変動要因

英国株式市況は、2016年6月下旬に行なわれた国民投票において、EU（欧州連合）離脱賛成派が勝利したことにより、英ポンドが大幅に下落し、大手エネルギー会社や大手製薬会社などの外需関連企業を中心に上昇しました。期を通しては、英国株式市況が上昇した一方で、英ポンドが対円で大きく下落したため、基準価額は下落しました。英国株式市況の動向につきましては、「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ英国高配当株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I 英 国 指 数 (配 当 込 み、 円 換 算) (参考指数)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 組 証 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2016年 5月17日	8,418	% -	8,819	% -	0.0	98.2
5 月末	8,795	4.5	9,314	5.6	0.0	97.9
6 月末	7,591	△9.8	8,078	△8.4	0.0	95.1
7 月末	7,978	△5.2	8,490	△3.7	0.0	99.0
8 月末	7,893	△6.2	8,511	△3.5	0.0	99.7
9 月末	7,867	△6.5	8,392	△4.8	0.0	99.6
10月末	7,637	△9.3	8,286	△6.0	0.0	99.3
(期末) 2016年11月17日	7,925	△5.9	8,489	△3.7	0.0	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について****○英国株式市況**

英国株式市況は、2016年6月下旬に行なわれた国民投票において、EU離脱賛成派が勝利したことにより、英ポンドが大幅に下落し、大手エネルギー会社や大手製薬会社などの外需関連企業を中心に上昇しました。8月はBOE（イングランド銀行）が政策金利の引き下げと量的金融緩和策の拡大を発表したことなどから、また10月には英国首相がEU離脱プロセスに関して強硬な姿勢を示したことなどから英ポンド安が進み、英国株式市況は上昇しました。しかし11月は、EU離脱には議会承認が必要との裁判所の判決が出たことなどから英ポンド高となり、英国株式市況は下落しました。

**○為替相場**

英ポンドは、2016年6月下旬に行なわれた国民投票において、EU離脱賛成派が勝利したことにより大幅に下落しました。10月は、英国首相がEU離脱プロセスに関して強硬な姿勢を示したことなどから再度英ポンド安が進行しました。しかし11月は、EU離脱には議会承認が必要との裁判所の判決が出たことなどから英ポンドが上昇しました。また、米国大統領選挙でトランプ氏が選出されたことなどから円安米ドル高が進行したため、円安英ポンド高が進みました。

**前期における「今後の運用方針」****○当ファンド**

主として、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（資産成長クラス）」（以下「ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（資産成長クラス）」といいます。）の組入比率を高位に維持し、信託財産の成長をめざします。

**○ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（資産成長クラス）**

相対的に配当利回りの高い英国の株式等へ投資し、信託財産の成長をめざします。

**○ダイワ・マネー・マザーファンド**

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（資産成長クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。主として、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（資産成長クラス）を通じて、相対的に配当利回りの高い英国の株式等へ投資し、信託財産の成長をめざしました。

### ○ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（資産成長クラス）

相対的に配当利回りの高い英国の株式等へ投資し、信託財産の成長をめざしました。

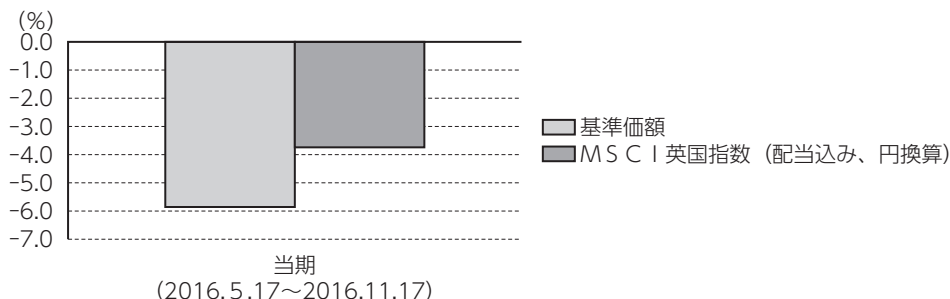
### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は英国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は110円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2016年5月18日 ～2016年11月17日	
当期分配金（税込み）（円）		110
対基準価額比率（％）		1.39
当期の収益（円）		110
当期の収益以外（円）		—
翌期繰越分配対象額（円）		1,053

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	114.44円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	579.72
(d) 分配準備積立金	469.05
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,163.21
(f) 分配金	110.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,053.21

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

主として、ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（資産成長クラス）の組入比率を高位に維持し、信託財産の成長をめざします。

### ○ダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（資産成長クラス）

相対的に配当利回りの高い英国の株式等へ投資し、信託財産の成長をめざします。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2016.5.18~2016.11.17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	53円	0.667%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,904円です。
(投信会社)	(17)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(34)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	53	0.671	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年5月18日から2016年11月17日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 2,012.95	千円 160,885	千口 6,553.738	千円 518,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
(注2) 金額は受渡し代金。  
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年5月18日から2016年11月17日まで)

当 期				期 末			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
UK HIGH DIVIDEND EQUITY FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,791.001	千円 145,000	円 80	UK HIGH DIVIDEND EQUITY FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	千口 6,553.738	千円 518,000	円 79

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2016年5月18日から2016年11月17日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 209,685	百万円 44,301	% 21.1	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	5,629,055	-	-	-	-	-
現先取引 (その他有価証券)	2,999	-	-	1,999	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) UK HIGH DIVIDEND EQUITY FUND CAPITAL GROWTH CLASS	千口 8,773.76	千円 667,139	% 99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 98	千口 98	千円 100

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年11月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	667,139	96.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	20,986	3.1
投資信託財産総額	688,226	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年11月17日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>688,226,165円</b>
コール・ローン等	20,986,964
投資信託受益証券(評価額)	667,139,181
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	100,020
<b>(B) 負債</b>	<b>16,180,822</b>
未払収益分配金	9,459,510
未払解約金	950,580
未払信託報酬	5,735,715
その他未払費用	35,017
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>672,045,343</b>
元本	859,955,475
次期繰越損益金	△187,910,132
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>859,955,475口</b>
1万口当り基準価額(C / D)	7,815円

\*期首における元本額は1,327,338,130円、当期中における追加設定元本額は234,235,355円、同解約元本額は701,618,010円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は7,815円です。

\*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は187,910,132円です。

■損益の状況

当期 自2016年5月18日 至2016年11月17日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>15,612,130円</b>
受取配当金	15,615,141
受取利息	948
支払利息	△ 3,959
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 49,836,131</b>
売買益	26,883,990
売買損	△ 76,720,121
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 5,770,736</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>△ 39,994,737</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△147,726,345</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>9,270,460</b>
(配当等相当額)	( 49,853,416)
(売買損益相当額)	(△ 40,582,956)
<b>(G) 合計(D + E + F)</b>	<b>△178,450,622</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 9,459,510</b>
<b>次期繰越損益金(G + H)</b>	<b>△187,910,132</b>
追加信託差損益金	9,270,460
(配当等相当額)	( 49,853,416)
(売買損益相当額)	(△ 40,582,956)
分配準備積立金	40,718,212
繰越損益金	△237,898,804

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,841,386円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	49,853,416
(d) 分配準備積立金	40,336,336
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	100,031,138
(f) 分配金	9,459,510
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	90,571,628
(h) 受益権総口数	859,955,475口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	110円

- <分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、11月17日現在の基準価額（1万口当たり7,815円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・UK・ハイ・  
ディビデンド・エクイティ・ファンド（資産成長クラス）

当ファンド（ダイワ英国高配当株ファンド）はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・UK・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（資産成長クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2016年11月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

財政状態計算書  
2015年9月30日現在

	英ポンド
<b>資産</b>	
現金および現金同等物	6,402,146
投資有価証券（公正価値ベース）（購入費用2015：73,389,686英ポンド）	69,302,506
その他の未収金	148,169
<b>資産計</b>	<b>75,852,821</b>
<b>負債</b>	
スワップ取引（公正価値ベース）	386,909
先物取引（公正価値ベース）	48,180
約定未払金	-
未払償還金	551,221
その他の未払金	87,606
<b>負債計</b>	<b>1,073,916</b>
<b>償還可能な受益証券の所有者に帰属する純資産の額</b>	<b>74,778,905</b>
内訳	
<b>資産成長クラス受益証券</b>	
償還可能な受益証券の所有者に帰属する純資産の額	英ポンド 10,380,309
発行済償還可能な受益証券数	18,860,883
償還可能な受益証券一口当たり純資産	英ポンド 0.5504
<b>ツインαクラス受益証券</b>	
償還可能な受益証券の所有者に帰属する純資産の額	英ポンド 64,398,596
発行済償還可能な受益証券数	144,486,246
償還可能な受益証券一口当たり純資産	英ポンド 0.4457

## 包括利益計算書

2015年9月30日に終了した会計年度

	英ポンド
配当収入	4,018,044
利子収入	4,378
投資純損失	(2,732,276)
外国為替取引による為替純損失	(23,276)
<b>投資純利益／(損失)</b>	<b>1,266,870</b>
副投資運用会社報酬	335,912
報酬代行会社報酬	180,036
管理会社報酬	47,987
資産保管会社報酬	30,274
監査報酬	12,500
受託会社報酬	7,793
手数料	1,307
その他の費用	1,021
<b>営業費用計</b>	<b>616,830</b>
<b>税引前利益／(損失)</b>	<b>650,040</b>
税額控除	(422,864)
<b>償還可能な受益証券の所有者に帰属する純資産の変動額</b>	<b>227,176</b>

組入明細 (普通株式)

2015年9月30日

銘柄名	株数	評価額 (英ポンド)
3I GROUP PLC LONDON LINE	127,000	592,201
AMLIN PLC GBP	66,000	433,290
ARM HOLDINGS PLC UK LINE	18,000	170,550
ASSTEAD GROUP UK LINE	30,000	279,000
ASTRAZENECA ORD GBP	73,000	3,052,495
AVIVA PLC UK LINE	87,000	393,240
BAE SYSTEMS UK LINE	310,000	1,387,870
BARCLAYS BANK GBP UK LINE	724,557	1,769,006
BARRATT DEVELOPMENT ORD UK LINE	50,000	322,250
BG GROUP UK LINE	134,000	1,274,340
BHP BILLITON PLC GBP	92,000	924,600
BP PLC UK LINE	706,814	2,360,759
BRITISH AMERICAN TOBACCO UK LINE	32,000	1,165,760
BRITISH LAND CO UK LINE	115,451	968,057
BT GROUP UK LINE	690,000	2,895,240
CARILLION PLC GBP	95,000	286,615
DIAGEO PLC UK LINE	92,000	1,628,860
DIRECT LINE INS GBP	255,000	955,995
DOMINOS PIZZA UK LINE	52,000	461,760
EXPERIAN PLC ORD USD0.10 UK LINE	25,000	264,500
GLAXOSMITHKLINE ORD GBP0.25 UK LINE	221,000	2,797,860
GLENCORE PLC GBP	350,000	320,425
HAYS PLC UK LINE	560,000	858,480
HENDERSON GROUP GBP	310,000	806,620
HSBC HLDGS PLC UK LINE	760,881	3,794,514
IMPERIAL TOBACCO GROUP UK LINE	95,000	3,242,350
INDIVIOR GBP	19,000	43,054
INTL CONSOLIDATED AIRLINE UK LINE	94,000	552,720
KCOM GROUP GBP	320,000	284,800
LANCASHIRE HLDGS COM SHS USD0.50 WI	40,000	276,400
LEGAL AND GENERAL GRP UK LINE	1,040,000	2,476,240
LLOYDS BANKING GROUP GBP0.10 UK LINE	3,550,000	2,668,180
LONMIN ORD UK LINE	3,776	614
MAN GROUP PLC GBP	220,000	337,040
MARKS AND SPENCER GROUP UK LINE	40,000	200,400
MONDI PLC UK LINE	118,000	1,631,940

銘柄名	株数	評価額 (英ポンド)
NATIONAL GRID ORD UK LINE	244,307	2,244,937
NEXT PLC UK LINE	12,500	951,250
PEARSON PLC UK LINE	80,000	901,600
PERSIMMON PLC UK LINE	18,000	361,440
PRUDENTIAL PLC UK LINE	231,000	3,218,985
RECKITT BENCKISER GROUP PLC GBP	25,000	1,496,750
RELX PLC UK LINE	75,000	849,000
RIO TINTO PLC UK LINE	36,000	795,600
ROYAL DUTCH SHELL A SHS UK LINE	218,000	3,387,720
ROYAL DUTCH SHELL B UK LINE	72,000	1,125,360
SABMILLER USD0.10 UK LINE	52,000	1,943,240
SCHRODERS VTG SHS GBP	38,000	1,065,900
SHIRE PLC GBP	34,500	1,553,880
SMITH AND NEPHEW ORD USD0.20	43,000	495,790
SSP GROUP PLC GBP	70,000	213,710
STANDARD CHARTERED UK LINE	20,795	133,254
TALK TALK TELECOM UK LINE	110,000	345,950
TAYLOR WIMPEY PLC GBP	990,000	1,935,450
UNILEVER PLC UK LINE	11,000	295,460
UNITED UTILITIES GROUP PLC UK LINE	35,000	323,750
VODAFONE GROUP POST CON GBP	790,000	1,646,755
WOLSELEY PLC	17,000	655,860
WPP 2012 PLC GBP	108,000	1,482,840

★ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	円	税金 分配 円	米 騰落 率			
1 期末(2014年11月17日)	10,001	0	0.0	46.7	—	百万円 22
2 期末(2015年 5 月18日)	10,004	0	0.0	34.2	—	152
3 期末(2015年11月17日)	10,008	0	0.0	30.7	—	13
4 期末(2016年 5 月17日)	10,002	0	△0.1	26.2	—	1
5 期末(2016年11月17日)	9,996	0	△0.1	19.8	—	2

(注1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

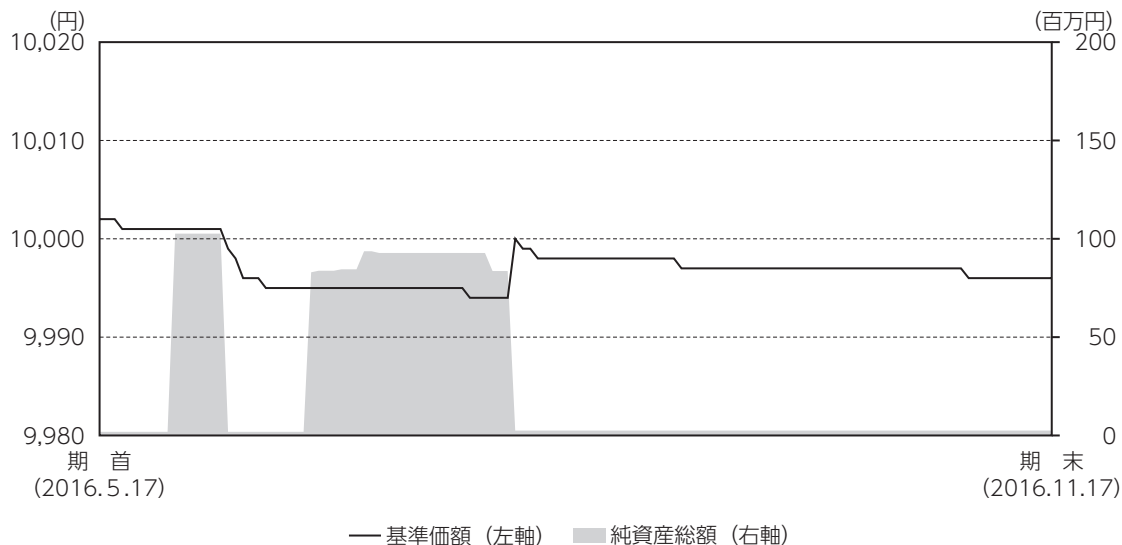
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注4) 当ファンドは、ダイワ英国高配当株ファンドの資金をスイッチングにより一時滞留させる受け皿としての役割をもったファンドであり、マザーファンドおよび短期金融資産による安定運用を行いません。そのため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,002円

期末：9,996円

騰落率：△0.1%

#### ■ 基準価額の主な変動要因

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。



年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
		騰 落 率	率		
(期首) 2016年 5 月17日	円	10,002	% -	% 26.2	% -
5 月末		10,001	△0.0	0.0	-
6 月末		9,995	△0.1	1.1	-
7 月末		9,994	△0.1	13.4	-
8 月末		9,998	△0.0	31.2	-
9 月末		9,997	△0.0	17.9	-
10月末		9,997	△0.0	2.4	-
(期末) 2016年11月17日		9,996	△0.1	19.8	-

(注) 騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○国内短期金融市況

日銀のマイナス金利政策の影響により、短期金融市場ではマイナス圏での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は△0.05%程度、国庫短期証券（3カ月物）の利回りは△0.27%程度で期末を迎えました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資を行ないます。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行なってまいります。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資を行ないました。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2016年5月18日 ～2016年11月17日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	9

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資を行ないます。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2016.5.18~2016.11.17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	—円	—%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は9,997円です。</b>
(投信会社)	(—)	(—)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(—)	(—)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(—)	(—)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.000	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年5月18日から2016年11月17日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	132,971	135,590	132,288	134,888

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) ベビーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2016年5月18日から2016年11月17日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 209,685	百万円 44,301	% 21.1	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	5,629,055	-	-	-	-	-
現先取引 (その他有価証券)	2,999	-	-	1,999	-	-

(注) 平均保有割合0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	1,046	1,729	1,763

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年11月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネー・マザーファンド	1,763	70.0
コール・ローン等、その他	755	30.0
投資信託財産総額	2,518	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年11月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,518,924円
コール・ローン等	755,340
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	1,763,584
(B) 負債	184
その他未払費用	184
(C) 純資産総額(A - B)	2,518,740
元本	2,519,647
次期繰越損益金	△ 907
(D) 受益権総口数	2,519,647口
1万口当り基準価額(C/D)	9,996円

\*期首における元本額は1,878,608円、当期中における追加設定元本額は192,594,648円、同解約元本額は191,953,609円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は9,996円です。

\*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は907円です。

■損益の状況

当期 自2016年5月18日 至2016年11月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 648円
受取利息	2,470
支払利息	△3,118
(B) 有価証券売買損益	1,157
売買益	5,399
売買損	△4,242
(C) 信託報酬等	△ 187
(D) 当期損益金(A + B + C)	322
(E) 追加信託差損益金	△1,229
(配当等相当額)	(△1,930)
(売買損益相当額)	( 701)
(F) 合計(D + E)	△ 907
次期繰越損益金(F)	△ 907
追加信託差損益金	△1,229
(配当等相当額)	(△1,930)
(売買損益相当額)	( 701)
分配準備積立金	1,616
繰越損益金	△1,294

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,616
(c) 収益調整金	701
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,317
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,317
(h) 受益権総口数	2,519,647口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ英国高配当株ファンド／ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2016年11月17日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を22～23ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2016年5月18日から2016年11月17日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
613	国庫短期証券 2016/9/12	27,280,379			
611	国庫短期証券 2016/9/5	19,330,584			
601	国庫短期証券 2016/7/19	19,020,392			
596	国庫短期証券 2016/6/20	14,390,312			
629	国庫短期証券 2016/11/28	14,090,446			
609	国庫短期証券 2016/8/22	10,870,238			
610	国庫短期証券 2016/8/29	10,390,257			
607	国庫短期証券 2016/8/15	9,490,188			
545	国庫短期証券 2016/7/20	9,200,000			
605	国庫短期証券 2016/8/8	8,420,305			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年11月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（66,498,255千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2016年11月17日現在							
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 19,160,000	千円 19,160,437	% 28.3	% -	% -	% -	% 28.3

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年11月17日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	571 国庫短期証券		%	千円	千円	
			—	10,000	10,000	2016/11/21
	628 国庫短期証券		—	4,080,000	4,080,038	2016/11/21
	629 国庫短期証券		—	14,090,000	14,090,357	2016/11/28
	630 国庫短期証券		—	920,000	920,035	2016/12/05
	635 国庫短期証券		—	60,000	60,006	2016/12/26
合 計	銘 柄 数 金 額	5銘柄				
				19,160,000	19,160,437	

(注) 単位未満は切捨て。

(3) 国内その他有価証券

	2016年11月17日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等現先	千円 999,999	% <1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。



# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第11期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第11期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位 (A-2格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

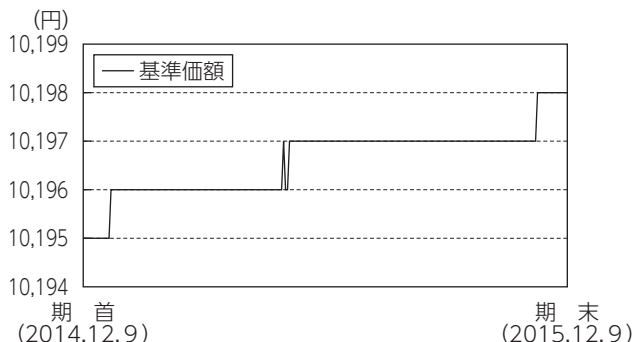
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	円	騰 落 率	
(期首)2014年12月9日	10,195	—	60.0
12月末	10,196	0.0	88.5
2015年1月末	10,196	0.0	87.3
2月末	10,196	0.0	58.5
3月末	10,196	0.0	53.0
4月末	10,196	0.0	61.8
5月末	10,197	0.0	59.0
6月末	10,197	0.0	53.3
7月末	10,197	0.0	62.8
8月末	10,197	0.0	70.5
9月末	10,197	0.0	61.6
10月末	10,197	0.0	66.8
11月末	10,198	0.0	52.5
(期末)2015年12月9日	10,198	0.0	55.2

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,195円 期末：10,198円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況  
公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
国債証券	120,653,910	(92,494,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
550 国庫短期証券 2015/11/9	8,509,995		
548 国庫短期証券 2015/11/2	7,399,995		
559 国庫短期証券 2015/12/21	7,049,991		
563 国庫短期証券 2016/1/18	6,099,995		
555 国庫短期証券 2015/12/7	5,499,999		
557 国庫短期証券 2015/12/14	5,469,997		
568 国庫短期証券 2016/2/15	5,000,000		
567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,995		
573 国庫短期証券 2016/3/7	4,800,995		
520 国庫短期証券 2015/6/22	3,499,975		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期			末			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちB B格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	43,554,000	43,559,849	55.2	—	—	—	55.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	年 利 率	当 期		末	
			額 面 金 額	評 価 額	額 面 金 額	評 価 額
		%	千円	千円	千円	千円
国債証券	537 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,000	2015/12/10	
	557 国庫短期証券	—	5,470,000	5,469,999	2015/12/14	
	559 国庫短期証券	—	7,050,000	7,049,997	2015/12/21	
	560 国庫短期証券	—	2,790,000	2,789,999	2015/12/28	
	563 国庫短期証券	—	6,100,000	6,099,997	2016/01/18	
	566 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/01	
	567 国庫短期証券	—	5,000,000	4,999,996	2016/02/08	
	568 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,000	2016/02/15	
	573 国庫短期証券	—	4,800,000	4,800,934	2016/03/07	
	342 2年国債	0.1000	2,094,000	2,095,675	2016/07/15	
	100 5年国債	0.3000	1,250,000	1,253,250	2016/09/20	
合 計	銘柄数		43,554,000	43,559,849		
	金額					

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公社債	43,559,849	55.2		
コール・ローン等、その他	35,332,328	44.8		
投資信託財産総額	78,892,178	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	78,892,178,168円	
コール・ローン等	35,330,663,234	
公社債(評価額)	43,559,849,888	
未収利息	1,114,825	
前払費用	550,221	
(B) 負債	—	
(C) 純資産総額(A - B)	78,892,178,168	
元本	77,361,886,547	
次期繰越損益金	1,530,291,621	
(D) 受益権総口数	77,361,886,547口	
1万円当り基準価額(C / D)	10,198円	

\* 期首における元本額は25,162,158,471円、当期中における追加設定元本額は125,627,714,743円、同解約元本額は73,427,986,667円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、深センA株資金拠出用ファンド(適格機関投資家専用)1,000,294,205円、ダイワ/RICI<sup>®</sup> コモディティ・ファンド8,952,508円、U S債券NB戦略ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)740,564円、U S債券NB戦略ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)1,623,350円、スマート・アロケーション・Dガード161,095,201円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト

317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルリターンズ ー日本円・コース(毎月分配型)132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型)643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルリターンズー 米ドル・コース(毎月分配型)12,784円、ダイワノフィデリティ北米株式ファンド ーパラダインシフトー49,096,623円、(適格機関投資家専用)スマート・シックス・Dガード1,919,351,400円、ブルベア・マネー・ポートフォリオIV23,032,151,009円、ブル3倍日本株ポートフォリオIV47,552,576,868円、ペア2倍日本株ポートフォリオIV2,618,628,748円、ダイワEグローバル・バリュー株ファンド(ダイワSMA専用)13,896,435円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)日本円・コース(毎月分配型)23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)米ドル・コース(毎月分配型)2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)豪ドル・コース(毎月分配型)13,761,552円、ダイワ/UBSエマージングC Bファンド2,498,575円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド14,780,160円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ46,913,699円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスII ー金積立型ー1,972,537円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド(償還条項付)為替ヘッジあり4,926,716円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(資産成長コース)49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(通貨αコース)196,290,094円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド(Dガード付/部分為替ヘッジあり)140,042,061円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド ーインフラ革命ー(為替ヘッジあり)9,813,543円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド ーインフラ革命ー(為替ヘッジなし)29,440,629円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)日本円コース3,874,449円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)通貨αコース13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα(毎月分配型)98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ7,567,671円、DCスマート・アロケーション・Dガード3,224,448円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド(ダイワSMA専用)490,418円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)トルコ・リラ・コース(毎月分配型)2,554,212円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型)株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型)通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型)株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)トリプルリターンズー 通貨セレクト・コース(毎月分配型)98,174円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,198円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期	期
(A) 配当等収益		10,433,273円
受取利息		10,433,273
(B) 有価証券売買損益	△	362,189
売買益		43,331
売買損	△	405,520
(C) 当期損益金(A + B)		10,071,084
(D) 前期繰越損益金		491,354,312
(E) 解約差損益金	△	1,446,302,032
(F) 追加信託差損益金		2,475,168,257
(G) 合計(C + D + E + F)		1,530,291,621
次期繰越損益金(G)		1,530,291,621

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。